

科目コード	N411
授業科目名	看護学統合実習
授業科目名(英文)	Integrated Clinical Practice in Nursing
講義室等	実習施設
学科	看護学科
対象学年	4年
開講学期	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	2
時間数	90
該当ディプロマ	◎看DP-3
該当コンピテンス	◎看CP-5、○看CP-4、△看CP-9
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	阿南あゆみ
授業の概要	看護学統合実習は、これまでに習得した知識・技術を活用し、医療・産業保健の包括的な視点から看護の質を管理、改善する力を身につける実習である。学生自ら臨地実習指導者と、実習目標の確認・スケジュール調整を行い、さらに各自の看護実践課題を抽出し解決・改善に向けた方法を模索することで、卒業後スムーズに看護実践の場に適応することを目的とする。 実習形態；複数受け持ち・看護管理実習，産業看護学実習（保健師選択者）
授業の到達目標 (学修効果)	1) 実習計画を立案することができる (1) 病棟・事業所ごとに、各グループの実習目標を明確にすることができる (2) 実習目標を達成するための学習を積極的に行うことができる (3) 臨地実習指導者と、実習内容や実習スケジュールを具体的に計画・調整することができる (4) 実習メンバーと協力して学習を進めることができる 2) 複数受け持ち・看護管理実習，産業看護学実習の目標を明確にすることができる 3) カンファレンスや学習発表会を通じて学びを共有し、学習のまとめを行うことができる (1) 他者の意見や助言を傾聴し、自己の看護実践を振り返ることができる (2) 学習成果を論理的にまとめ、グループ毎に発表することができる (3) 自己の将来に向けての課題や方向性を明確にすることができる
予習復習の所要時間	実習時間90時間
成績評価方法	各領域における評価（実習への参加の姿勢（20%）、実習記録内容(50%)、計画発表会やまとめの会参加状況(30%))により、総合的に判定する。100点満点中60点以上を合格とする。
教科書	特になし
参考書	他学の統合実習に関する論文など
その他	*詳細については臨地実習要項及び実習の手引きを参照すること。

		実習内容・実習場所	実習の形態	実習担当者
1	第1週目	1日目：各実習領域のオリエンテーション 2～5日目：臨地実習（金曜日；臨地カンファレンス）		阿南 あゆみ 立石 和子 柴田 弘子 中谷 淳子 實崎 美奈 永松 有紀 長 聡子 原賀 美紀 八谷 百合子 中村 恵美 岡田 なぎさ 野元 由美 丸山 泰子 仲前 美由紀 仲野 宏子 小山 理英 児玉 豊彦 萩原 智子 白石 祈枝 西村 春香 大森 美保 内田 真優美 古村 沙織 高木 幸子 栗山 知子 井上 ちはる 山口 恭平
2	第2週目	1～3日目：臨地実習 4日目：臨地カンファレンス 5日目：学内カンファレンス	臨地実習	同上